



みなさん、こんにちは！

先程、ご紹介いただきました\*\*\*\*といいます！

今日はみんなに『ゴミ』についてお話ししたいと思います。今日はみんなに正しいゴミの分け方を勉強してもらったり、私たちが普段お仕事で使う車を見てもらったりして楽しく学んでもらえたらなあ・・・と思って色々と準備してきました！

最後にお楽しみもあるので、しっかりお話しを聞いてくれたらうれしいです！（最後に新聞紙を再利用した鉛筆を配布します。）

【クリック】



それではまず始めに、不法投棄という悲しい現実をみなさんに見てもらいたいと思います。

みなさんは不法投棄って何かわかる？（手を挙げさせる）

不法投棄とは、きちんと決められた場所ではなく、人目につかない山の中や人の土地に勝手にゴミを捨てることを言います。

それでは、私たち産業資源循環協会で実際に清掃作業・ごみ拾いを行った時の写真を使って見ていきましょう。

【クリック】



ここは、熊本市にある金峰山の写真です。

私たち産業資源循環協会では、毎年、熊本県内の数箇所ではゴミの清掃作業を行っています。

このような山間部だけでなく海岸部での清掃作業を今までに何度も行ってきました。

【クリック】



この金峰山も一見きれいに見える山ですが、よく調べてみるとやはりゴミが捨てられていました。

【クリック】

「冷蔵庫」、「テレビ」、「タイヤ」、「家庭ごみ」が捨てられていました。一つの家庭から、こんなにタイヤは出されることはありませんので、悪い業者が捨てたものと思われます。

【クリック】



ゴミは人の目につかない場所に捨てられている事が多く、足場の悪い斜面をクレーンや人の力で引き上げながら作業を行っています。

【クリック】



このように、山道でどこに捨てようか考えながら移動していて、ガードレールがないところを発見し、その場所を狙ってゴミが不法投棄されています。

【クリック】

ここではタイヤが不法投棄されていました。  
こんなにたくさんのタイヤが捨てられていたんです。

【クリック】



他にも、大量のゴミが人の目につかないところに捨てられています。  
この写真は、清掃作業後にゴミを集めた時の写真ですが、県内のいたるところにこのようなゴミが多く存在しています。

残念なことに、一部の心無い人によって行われる不法投棄が後を立ちません。

みなさんの周りで空き缶のポイ捨てやタバコのポイ捨てをしている人はいませんか？

捨てる人は自分が良ければ良いとしか考えていない人です。

しかし、みんながそれをすれば世界中がゴミだらけになってしまいます。

これは本当に恥ずかしい事です。今までポイ捨てしたことがある人は、今日から絶対しないことを約束してください。

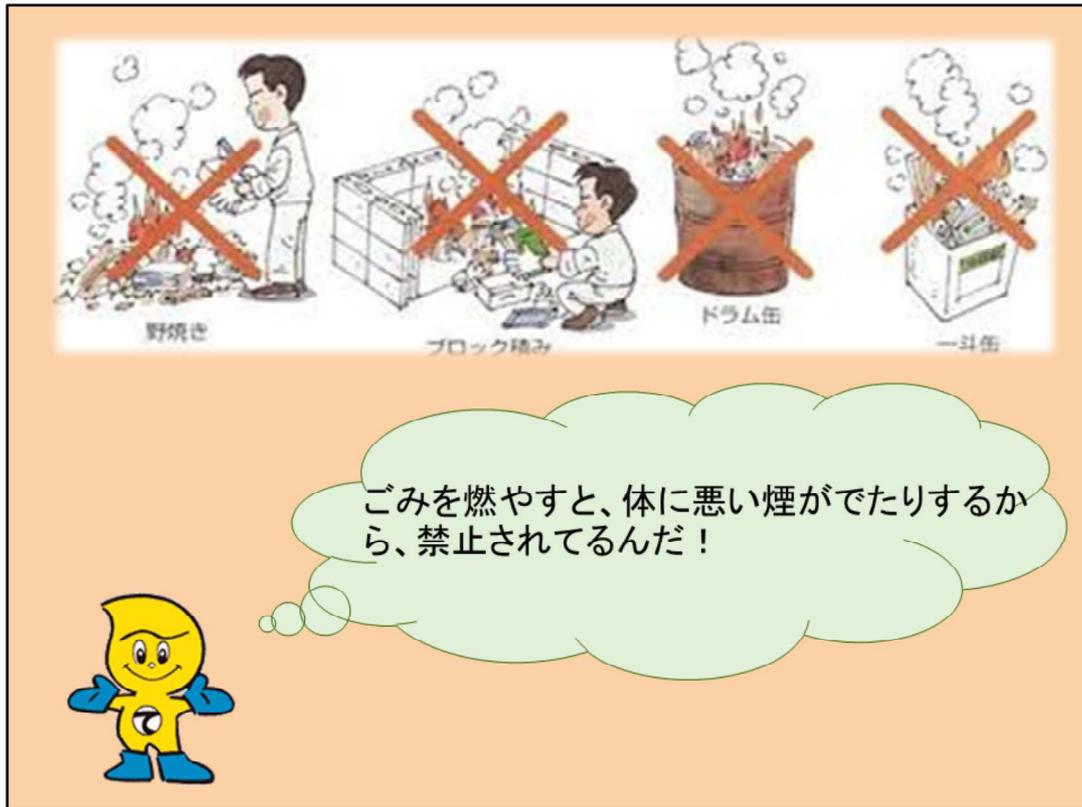
また、周りの人がポイ捨てをしていたら注意しましょう！

【クリック】



不法投棄と同じく、「野焼き」も行ってはいけません。野焼きとは外でごみを燃やす事です。  
これは建設工事などで出たごみを野焼きしているところです。  
野焼きについても、法律で禁止されています。

【クリック】



たき火やどんど焼き、など一部認められるものもありますが、家から出た紙くず類やプラスチック類、会社や工場から出されるゴミは絶対燃やしてはいけません。

【クリック】



おさらいです！【クリック】

不法投棄をすると・・・

海や山の自然が壊されます。そして景観(見た目)も悪くなります。臭い匂いや害虫が発生したり、火災発生の原因にもなります。

これからの自然・環境は大人の私たちだけではなく、若い世代の皆さんも一緒に守っていかねばなりません。

ポイ捨ても不法投棄です。絶対しないと約束出来る人は手を挙げてください。

今日帰ってからおうちの人に「ポイ捨てしない宣言」をしてくださいね。また、大人になってもしないよう心掛けてください。

自然や環境を守っていくのは皆さん一人一人の心がけです。

今日の授業で少しでもゴミに関心を持っていただけたらと思います。

【クリック】

## ごみの量を知ろう！（全国版）

47都道府県の中で、

**第4位**（平成27年度データ）

1位 長野県  
2位 沖縄県  
3位 滋賀県

**4位 熊本県**

45位 群馬県  
46位 富山県  
47位 福島県



※平成23～24年度は2年連続で**第1位**でした。

それでは次に、私たちが普段何気なく捨てているごみの『量』についてお話しします。

突然ですが！ここで問題です！

日本全国にはいくつ都道府県があるか皆さん知ってますか？

正解は、47都道府県ですね！【クリック】

では、次の問題です！ここに熊本県が第4位と出ていますが、何で4位になったでしょう？？

その中で、皆さんが住んでいるここ熊本県は、一人が一日に出すゴミの量が多いほうか少ないほうか、どちらでしょうか。（手を挙げさせる）

多い方と思う人・・・

では、少ない方と思う人・・・

正解は、

全国で4番目に、一人が一日に出すゴミの量が少ない県なのです。素晴らしいことだと思いませんか？？ゴミはたくさん出すよりも少ないほうがいいですよ？

ちなみに2年連続で1番目になった事もあるんですよ。

【クリック】

**熊本県**で一日に出る  
一人当たりのごみの量(平成27年度)

347g

547g

847g



それでは、今お話しした熊本県で1人が1日に出すごみの量は  
この中にあるA、B、Cのどれでしょうか？

本日は、実際にそのごみの量を用意しました。  
みなさん、どれが正解だと思いますか？  
(準備していたゴミを3つ見せてどれが正しいか当ててもらおう。)

正解はこの847g！【クリック】  
一番大きい袋ですね。

このゴミの量は、熊本県内全体で出されるごみの量を住んでいる人(人口)の数で割った数字です。なので、皆さんが普段の生活で一日に出す量だけではなく、工場や、スーパーなどから出されるごみの重さを合わせたものを住んでいる人の数で割った重さになります。

【クリック】

**長洲町**で一日に出る  
一人当たりのごみの量(平成27年度)

578g

778g

1078g



先程、熊本県で1人が1日に出すごみの量は847gとお話ししました。  
ここ、長洲町は何グラムだと思いますか??

578gと思う人? 778gと思う人? 1078gと思う人?  
(実際のごみの袋は使わずにスライドを指さして…)

正解はこの778g!【クリック】

熊本県全体での量より少ないですね?

このゴミの量は、長洲町全体で出されるごみの量を住んでいる人(人口)の数で割った数字なので、皆さんが普段の生活で一日に出す量だけではなく、

工場や、スーパー、飲食店、観光施設などから出されるごみの重さを合わせたものを住んでいる人の数で割った重さになります。

また、熊本市は熊本県の中心地であり、他県から訪れた方々が捨てていったゴミなども入っています…

【クリック】

# ごみの量を知ろう！（熊本県版）



45市町村の中で、  
**第〇〇位**（平成27年度データ）

1位 美里町  
2位 和水町  
3位 津奈木町

）

**〇〇位**   **〇〇〇**

43位 八代市  
44位 人吉市  
45位 嘉島町



それでは今、〇〇市町村で一日に出る一人あたりのごみの量が〇〇〇gとお話ししましたが、これは熊本県内45市町村で多い方と思う人！？  
真ん中くらいだと思う人！？  
少ない方と思う人！？  
（手を挙げさせる）

正解は・・・〇〇〇です(多い方、真ん中くらい、少ない方など選択して 回答)【クリック】

〇〇市町村は、45市町村の中で〇〇位なので、

- ①一日に一人が出すごみの量は少ない方なんですね・・・
  - ②一日に一人が出すごみの量は熊本県内の平均よりも少ないですね・・・
  - ③一日に一人が出すごみの量は多い方なんですね・・・
- それではごみの量について次のスライドで詳しく見てみましょう！

【クリック】

〇〇市町村洲で出るごみの量(平成27年度)

・〇〇〇の1人1日当たりのごみの量…〇〇〇g

× お茶(500ml)〇本と  
おにぎり〇個分

・〇〇〇に住んでいるみんなが  
1日に出すごみの量…〇〇〇kg

くまもん(100kg) × 〇〇〇体分

次に、〇〇〇gってどれぐらいの重さかな？ということで、ここに例を挙げてみました。

〇〇〇g…

みなさんが遠足に持っていくお茶やおにぎりの重さと同じなんです。

【クリック】

では、〇〇市町村のみんなだと、どれぐらいの量になると思いますか？  
答えは、約〇〇〇kgです。

〇〇〇kgってみなさん想像できますか？

くまもんが〇〇〇体分の量のごみが出ていることになります。

【クリック】

どうにかゴミの量を減らす事はできないかなあ…

ゴミの量を減らすのに最も大切なことは何でしょうか？(挙げてもらう)  
そうです、分別です。

【クリック】



それでは、みなさんに実際のゴミを使って分別してもらおうと思います。

※実際に児童全員に分別作業を行ってもらおう。  
 ※大人数の場合は、担任の先生に誘導してもらおう。  
 (10分程度)

→正しく分別が出来ているか答え合わせをする。  
 (時間短縮の為、間違ったものが入ってないか確認する程度)

終了後…

先程、ゴミの量を減らす為にも『分別』が大切ですよ！と話しましたが、

分別を行わずに捨てる、燃やしたときに全て灰になってしまいます。  
 しかし、分別を行うことで資源や製品に生まれ変わる物もあります…

それでは、紹介していきたいと思います。(圧縮ゴミを見せる)

①アルミ缶( 本、 kg)  
 これは、皆さんの家庭やコンビニなどから出たものが集められ、ギューツと固められたものですが、専門の業者さんの手によってリサイクルされて再度アルミ缶に生まれ変わります。

②スチール缶( 本、 kg)  
 アルミ缶と同じようにリサイクルされます。

③ペットボトル( 本、 kg)  
 粉々に砕かれて、これがこのようなシートに加工され、それがこのような卵パックや食品の容器に生まれ変わるんです。  
 またペットボトルは私たちが来ている作業服の原料になったり、みんなが冬に着るこんなフリースの原料になったりもするんですよ！

みなさんの家から出た燃やすゴミは収集車によって集められ、清掃センターに運ばれています。  
 今、皆さんが行ってくれた分別によって、「燃やすゴミ」の量はグーンと減ります。

分別することで、ゴミがゴミではなく、資源となり製品に生まれ変わるんです。  
 限りある資源を大切にするためにやる事…それは分別です。

今日からみなさんは分別のプロです！  
 おうちの人分別を間違えていたら、教えてあげてくださいね！

それでは、分別のプロの皆さんに覚えてもらいたい言葉があります…

【クリック】

『3R』って知ってる？

リデュース＝ごみを減らす  
リユース＝繰り返し使う  
リサイクル＝再利用する



みなさん『3R(サン・アール)』聞いたことありますか？  
※答えさせる

【クリック】

そうです、リデュース、リユース、リサイクルが3Rとされています。  
それでは、1つずつ見ていきましょう！

【クリック】



リデュースとはできるだけむだなゴミの量を少なくする、という意味です。【クリック】このリデュース(ゴミの量をすくなくする)するために何ができると思いますか??手を挙げて答えてくれる人!!??

※何人か答えさせる。  
 ・「ものを最後まで大切に使う」  
 ・給食を残さない  
 ・マイバックを使う  
 ・割りばしを使わない  
 Etc...

授業が始まる前に担任の●●先生に、みなさんは給食を残さず食べてると伺いました！素晴らしいことですね！

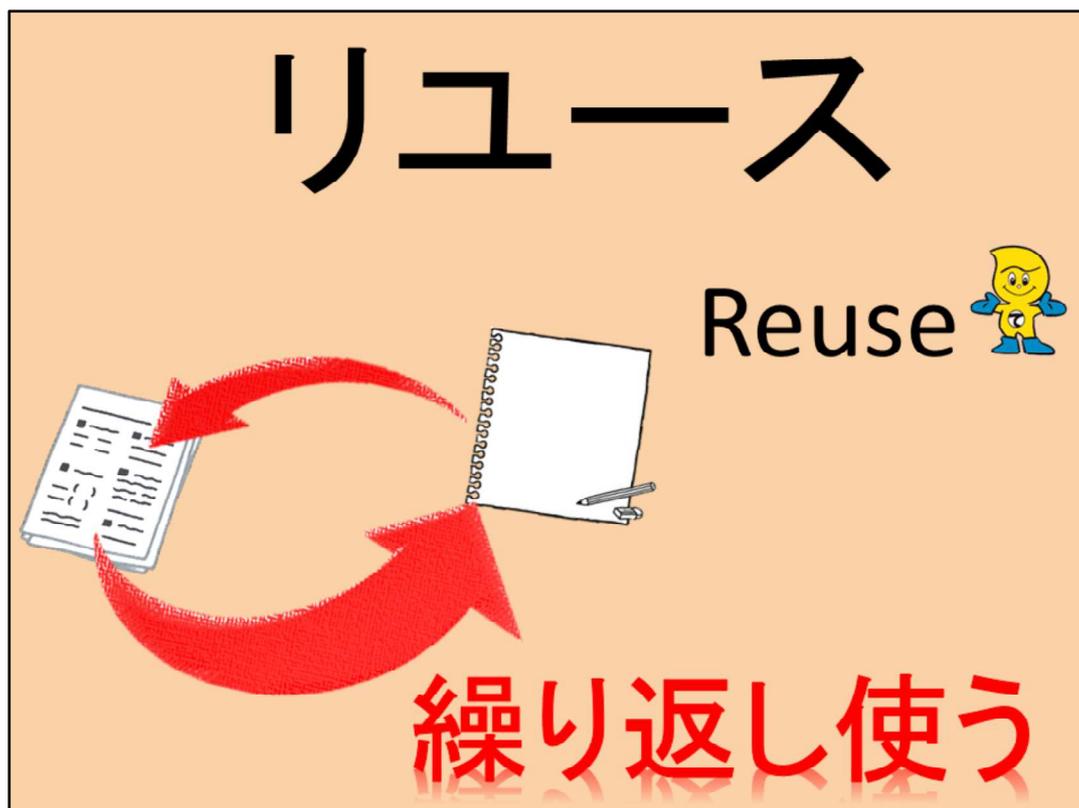
皆さんも取り組んでいると思いますが…

例えば給食…  
 給食はみんなの栄養を考えて給食の先生方が毎日作ってくださいますよね？  
 どうしても食べられないものは量を減らしてついでもらう。  
 残さないように努力する事が、リデュースになるんです。

また、おうちで出されたご飯も、これは嫌いあれは嫌いと言わずにきちんと最後まで食べてしまう。  
 それがリデュースになるんです！

あともう一つ今日からできる事があります。  
 みなさんおうちの方とスーパーへお買い物へ行ったりしますか？  
 その時にマイバックを持って行くとビニールの袋がいらなくなりますよね？  
 それもリデュース、ゴミの量を減らす事になるんですね。

【クリック】



次に「リユース」です。リユースとは一度使ったものをゴミにしないで何度も繰り返し使うことです。  
【クリック】

お兄さんお姉さん知り合いの方からの「おさがり」はリユースです。  
リサイクルショップって知ってるかな？あそこは使わなくなったもの、いらなくなったものをお店が  
買って、再度商品として売る。これもリユースです。  
(リサイクルショップ→リユースショップが本当なんですよ。)

まだまだ使えるのにいらなくなったら捨てる・・・ではなくて繰り返し使う。  
フリーマーケットやリサイクルショップを利用するのもリユースです。

一度使った紙の裏は真っ白ですよ？なので、産業資源循環協会の事務所では、FAX用紙として使っています！  
先程みなさんに配ったプリントの裏を見てください。真っ白ですよ？その裏もメモ用紙にしたりして再度使えますよね？

(実際の裏紙を見せて説明)

これも立派なリユースになるんですよ！

「マイバッグ」は「買い物袋をもらわない」ことでごみを減らすリデュースになるとお話ししましたが、  
繰り返し使えるので、「リユース」にもなるんですね。

【クリック】

# リサイクル



Recycle 

## 再利用する

最後にリサイクルについてお話します。  
リサイクルとは、使い終わったものをもう一度資源にもどし製品を作ること  
を言います。【クリック】

私たちが使い終わった紙やペットボトル、缶類。これらは捨ててしまえばゴミ  
ですが、きちんとゴミ出しルールを守って分けて捨てると、もう一度資源と  
なって製品に生まれ変わるんです。  
私たちは自分がいらなくなるとつい「ごみ」と考えしまいがちですが、それは  
「資源」であることが多いのです。

リサイクルはいらなくなったものを分別してそれがまた製品になる。  
それを使う人がいて初めてリサイクルの輪がつながります。

この名札も、実はいらなくなったポスターを利用して作ったものです。みなさ  
んも身の回りでできる3Rを見つけて、是非実行してください。

最後に今説明した3Rの取組みについて何かわからない事があったら質問し  
てください！どんなことでもいいですよ！

(少し待って子供達からの質問を出させる)

もし手を挙げて聞くのが恥ずかしいなあ・・・という人は休み時間でも結構で  
す！ 私たちに尋ねてくださいね！

【クリック】

# じゅんかんがたしやかい 循環型社会



うう～ん、むずかしいなあ・・・  
黒板を使って説明するよ！

先ほど、ペットボトルやアルミ缶が再生(リサイクル)されてまた製品に生まれ変わることを説明しましたよね？

この流れを循環型社会といいます。

それでは、わかりやすく絵で紹介します。

※黒板を使って、循環型社会を説明

(黒板の説明をまとめて・・・)

まずは「資源」から「もの」、「製品」を作ります。その製品は消費や使用されることによって「ゴミ」となります。

みなさんは「ゴミ」をどうしますか？

そうですね、捨てます。「廃棄する」とも言います。

捨てた後の作業としては、その「ゴミ」を燃やしたり、埋め立て処分したりしていました。

しかし、現在はただ処分するのではなくて先程みなさんに行ってもらいましたが「分別」し、再び製品に変える処理方法が行われています。

このような流れを「循環型社会」と呼んでいます。

【クリック】



私たちの仕事は、この循環型社会の実現に重要な役割を果たしています！【クリック】

※部会員のみなさんの仕事の紹介を出来たらいいなあ・・・と思ってます。  
→ペットフレーク等実際に処理された実物を児童達に回して触れてもらう？

地域のごみ出しルールを守ってもらわないと、処理が難しくなることや、資源化できるものが出来なくなる等説明する。

先程おうちでもしっかり分別してくださいとお願いしたかと思いますが、分別して出してもらったゴミにこのような(ペットボトルの中にタバコ、飲みかすが入ったペット、汚れたプラスチックを出して…)ものが混ざっていると私たちはとても困ります。

※機械が詰まる。手作業でとるのに時間がかかる等説明。

また、ゴミ出しのルールを守らずに、燃えるごみの中にこのようなスプレー缶が混ざっていると…火事の原因となり、車が燃えるなど大変危険な事が起こるんです。

みなさん絶対に！ゴミ出しのルールはしっかり守って下さいね！！

【クリック】



そして次に、皆さんはこの人が誰だかわかりますか？  
この人はワンガリ・マータイさんと言って環境の分野で初めてノーベル平和賞を受賞したケニア人女性です。

マータイさんが2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。【クリック】

マータイさんはこの「もったいない」という言葉には環境活動の3Rと、かけがえのない地球資源に対する「リスペクト」という尊敬の念が込められている言葉として、全世界の共通語として広めるための運動を行いました。

皆さんも何げなく「もったいない」という言葉は使っていると思います。でも、その「もったいない」をどれくらい意識して生活していますか？

おさがりははずかしいとか新しいものがいいという気持ちを逆に資源の有効利用をしているから「かっこいい」という気持ちになってくれれば嬉しいです。

給食も、おうちのごはんも、もったいないから残さない。

紙の裏も真っ白だからもったいないから捨てずにメモ用紙として使う。

ペットボトルもアルミ缶も捨てればゴミになるけれどももったいないから分別してリサイクルへまわす。

普段の生活でぜひこの『もったいない』という言葉意識してくれるとうれしいです。

それではここで、休憩を取って運動場に出てもらいます！今日は外にパッカー車を持ってきているので実際に見てもらいたいと思います！それでは先生の指示に従って運動場に集合してください！



担任の先生にまとめをお願いします。

4年〇組の『約束の木』を作しましょう。【クリック】

※産業資源循環協会青年部会で葉っぱとペンを配布する。

みんなで「約束の木」をつくろう！



約束の木を貼る間このスライドで待機。

最後に、今日この授業を聞いてもらったので皆さんにプレゼントがあります！！

(鉛筆配布)

これは新聞紙で作った鉛筆です。よくみると鉛筆の芯が新聞紙でくるんであります。

これを使うたびに今日の授業を思い出してくれるとうれしいです。

これで、今日の授業を終了したいと思います。

長い時間ありがとうございました。